

社会教育研究部門

## 「教育と公共」研究部会（第12回）

日時：2020年4月10日（金）13:00～16:20

場所：新型コロナでの自粛により、オンライン「zoom」で開催

出席：田嶋一・浅井幸子・上野正道・狩野浩二・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員  
金沢千秋・川上智子

欠席：吉久知延所長

内容：（1）3月研究会は、ゲスト・スピーカー候補のガート・ビースタ氏が、新型コロナのために来日できなかったのと、大学の自粛要請等のために休止。今後、研究会報告の予定者を繰り下げていく。

（2）田嶋研究員の報告：「日本社会における公教育制度の成立と学校をめぐる社会的通念の形成過程（その1）」（1988、國學院大學教育学研究室紀要第23号）をもとにした研究で、教育学の先行研究がまだあまりなかった段階での研究として提出

### 1. 「I 国家の成立と教育における『公』概念の形成」

そもそも日本社会では「公」とは何だったのか、どんな歴史を持っているのか。

以下、各節の内容

- ①村落共同体をめぐる問題：封建遺制としての前近代のなかでも、民衆社会のなかに新しい社会（近代）に向けての内発の萌芽を見出したい
- ②幕末維新期における「公」概念の成立と展開：「公」の本来の意味／「社」「郷」「義」「共」などで生まれようとしていた庶民の公的原理／明治政府の「万機公論」の「公」とは？／自由民権運動を「教育と公共」の視点から捉えなおすと／政府内部にあった近代化路線をめぐるヘゲモニー争い

・次回研究会は、5月8日13時から、オンラインZOOMで開催。報告者は狩野、仲田各研究員